

【高等学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている C:やや不十分である
 B:おおむね達成できている D:不十分である

学校名	佐賀県立伊万里実業高等学校 商業キャンパス 定時制
1 前年度	・学校魅力の発信、通学しやすい環境の整備、現代のニーズに合ったカリキュラム編成など生徒確保への取り組みを行い、地域に根ざした学校づくりを引き続き行う。
2 SAGASクール・ミッション 学校教育目標	西部地区唯一の商業科定時制高校として、多様な生徒に対応した商業教育を実践する。
4 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・レジリエンスが高い生徒の育成と安全安心な学校づくり ・生徒一人一人の学習状況に合わせた学力習得(修得)と進路実現 ・多様性を認め合い、地域とともに歩み続ける人材の育成を図る

3 スクール・ポリシー	アドミッション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー
	A) このような生徒を求めています 1 思いやりがあり協力して学びあうことができる。 2 働きながら学びたい キーワード ○思いやり ○学習 ○向上 ○勤労 ○協力	B) 学びたい気持ちを大切にします! 【少人数クラスでの教科指導】 ○商業教科を基礎から指導します。 ○専門知識と技術の定着を図るため、資格取得にも挑戦します。 【特色】 ○自ら学ぼうとする意欲を大切にします。 ○単位制を導入しています。 ○働きながら学べます。 【その他】 ○2学期制です。 ○併修制度により3年での卒業も可能です。	C) 身に付けてもらいたい能力・精神! ○他者と協働できる力 ○自ら学び行動する力 ○社会の課題に向き合う力 ○多様な人々と協働できる力 ○地域産業に貢献できる力

5 重点取組内容・成果指標

				中間評価		最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○基礎学力の定着・向上	○基礎学力テストで60%以上正答した生徒が80%以上 ○出席率95%以上	・授業実施率95%以上 ・少人数教育のメリットを生かし、生徒の学習習熟度を理解しながら個別指導等にも対応することで生徒の学力向上につなげる。							教務主任 進路指導主事 各教科・学年主任	
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳教育の全体計画に基づいて授業を行った教員80%以上	・人権・同和教育講演会の実施 ・HRにおいて、情報モラル教育、人権・同和教育を実施							人権・同和教育担当者 道徳教育推進教師	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員100%	・いじめアンケート(年間5回)実施後に、必ず研修・会議を行う。							生徒指導主事 各学年主任	
	◎★ふるさと佐賀への思いでを醸成するための教育活動	◎「佐賀県に誇りや愛着を感じる・どちらかというと感じる」と回答した生徒80%以上 ★郷土の人材を活用した講演会等、各学年年間15時間以上	・HRにおいて佐賀語を読む時間を確保し、郷土について学ぶ時間を増やす。 ・佐賀を誇りに思う講演会の実施							教務担当者	
●健康・体づくり	○健康管理能力の向上 ●望ましい生活習慣の形成	○検診結果で治療を要する生徒の治療受診率70%以上 ●食事を3食とれている生徒70%以上 ○給食の喫食率92%以上	・ICTを活用した健康観察の実施 ・「保健だより」で健康についての情報を提供する。 ・要治療の生徒への個別指導および三者面談時の治療勧奨 ・食生活に関する面談を実施する。							保健主事 学校栄養職員	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・勤務終了時刻に積極的に退勤を促す。							管理職	
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員93%以上	・特別支援教育に関して正しい理解につながるように外部講師を招聘し職員研修会を開催する。							特別支援コーディネーター	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★唯一無二の誇り高き学校づくり	★実践的・体験的な活動の充実と県内外への情報発信	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合を80%以上、教職員の割合を85%以上とする。	・学校行事、給食・保健、生徒会通信等をホームページに掲載し、学校生活が伝わるような配信を行う。今年度は資格取得情報なども加えていきたい。 ・全日制及びハローワークと連携し進路情報を生徒に提供する。							
◎志を高める教育	◎学習意欲を高め、進路実現に向け主体的に行動できる生徒の育成	◎卒業予定者の進路決定率100% ◎在校生の就労率90%以上	・アルバイト等の就労体験を通し社会性を身につけ進路意識を高める。 ・日頃の教育活動を通して進路意識の啓発を行う。							進路指導主事 教務主任 各教科・学年主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

6 総合評価・次年度への展望(簡潔に)	
---------------------	--